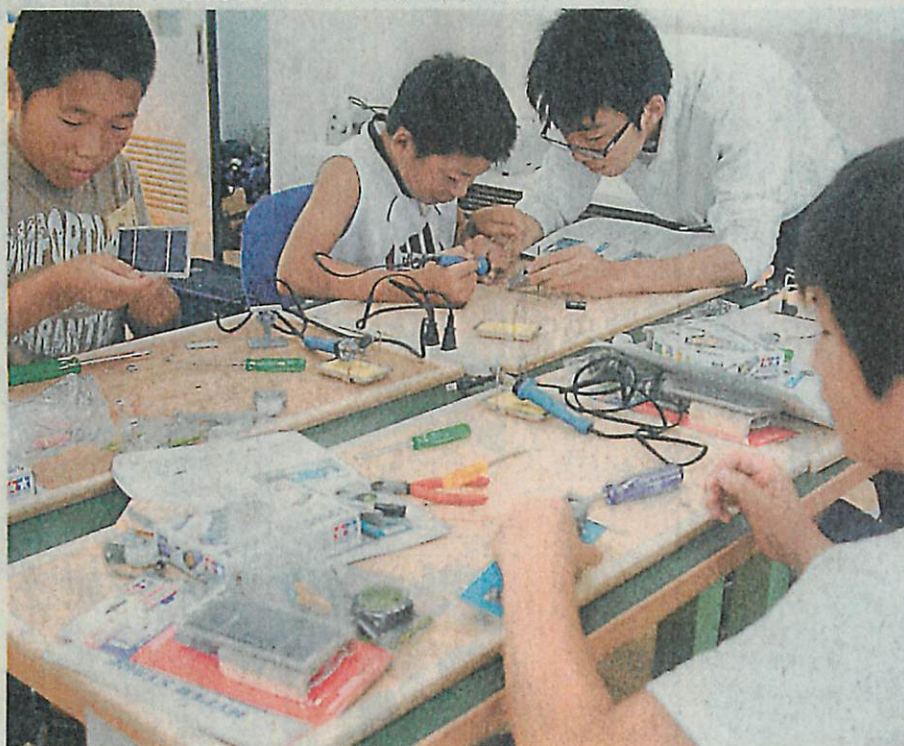


洛陽工業高の生徒に教わり、真剣な表情でソーラーカーを組み立てる参加者(京都市南区・洛陽工業高)



僕だけのソーラーカーできた

小中学生が理科工作を争うレースもあり、を築しむ「ソーラーカー作り」が31日、京都市南区の洛陽工業高で開かれた。32人が参加し、複雑な作りに苦戦しながらも真剣な表情で組み立てた。伏見板橋小5年の内田和宏君(11)は「理科の実験は大好き。リ

洛陽工高 小中生、組み立て挑戦

で組み立てた。

ソーラーパネルや蓄電池の仕組みを学んだ後、同高の生徒や教員に教わりながら、モーターやギアなどを取り付けた。完成したソーラーカーで時間や距離

ード線の取り付けが難しかった」と話した。子どもの理科離れを防ごうと、市教育委員会の京都こどもモノづくり事業推進委員会と同高が開いた。

(今野麦)